

国勢調査に関するアンケート結果

1 アンケート概要

(1) 目的

国勢調査に関する市民の認知度や考えを確認し、その結果を国への提案及び今後の市の取組の参考とするため。

(2) 対象

モニター 280名

(3) 回収数

197件（回答率70.4%）

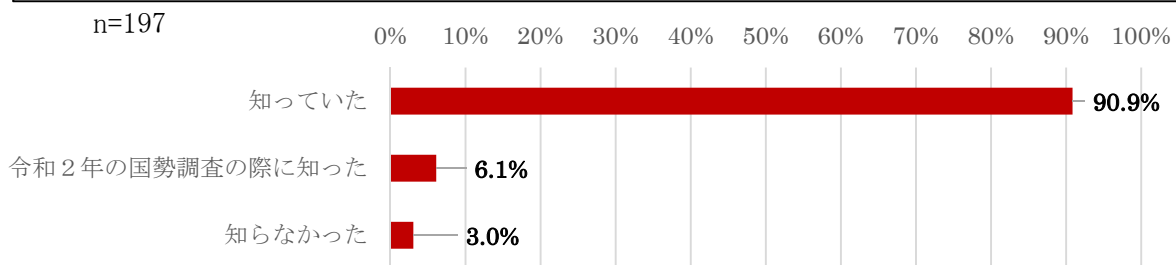
(4) 調査時期

令和3年1月13日（水）～令和3年1月27日（水）

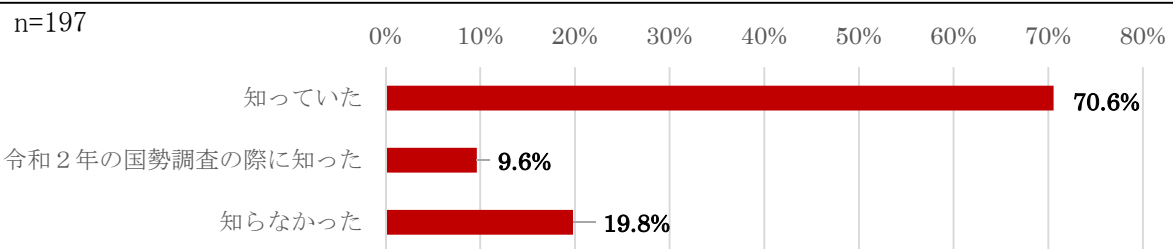
※その他、自由記載欄について、同種の意見はまとめています。

2 アンケート

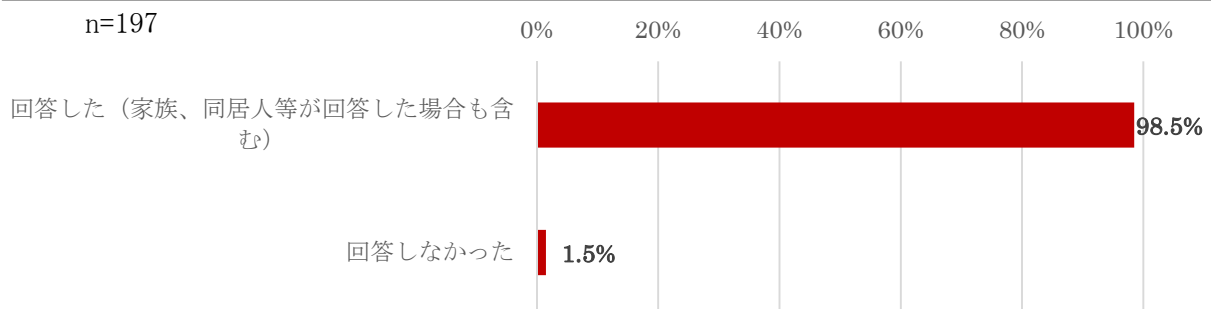
Q1 あなたは、国勢調査が5年に1度、日本に居住しているすべての人や世帯を対象に行われていることを知っていましたか。



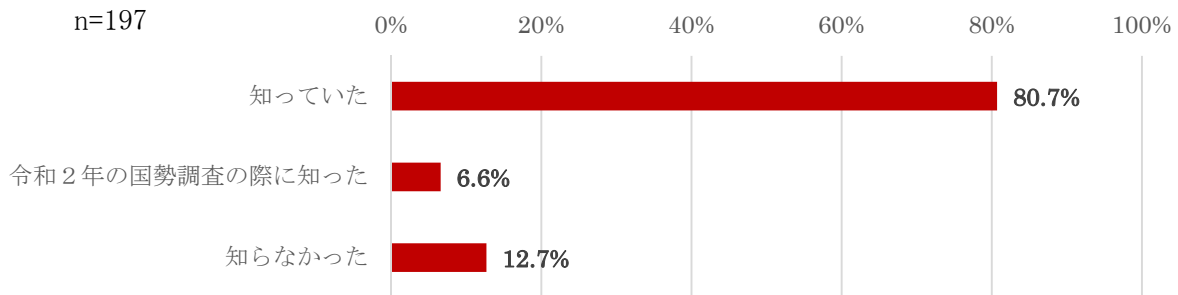
Q2 あなたは、国勢調査において、住民票とは関係なく、国勢調査の基準日（10/1）に実際に住んでいるところにおいて、回答する必要があることを知っていましたか。



Q3 あなたは令和2年国勢調査に回答しましたか。



Q 4 国勢調査は統計法で定める基幹統計であり、回答の義務（報告義務）がありましたか。



Q 5 国勢調査においては、様々な施策の立案等に活用するため、多岐にわたる項目を調査しています。

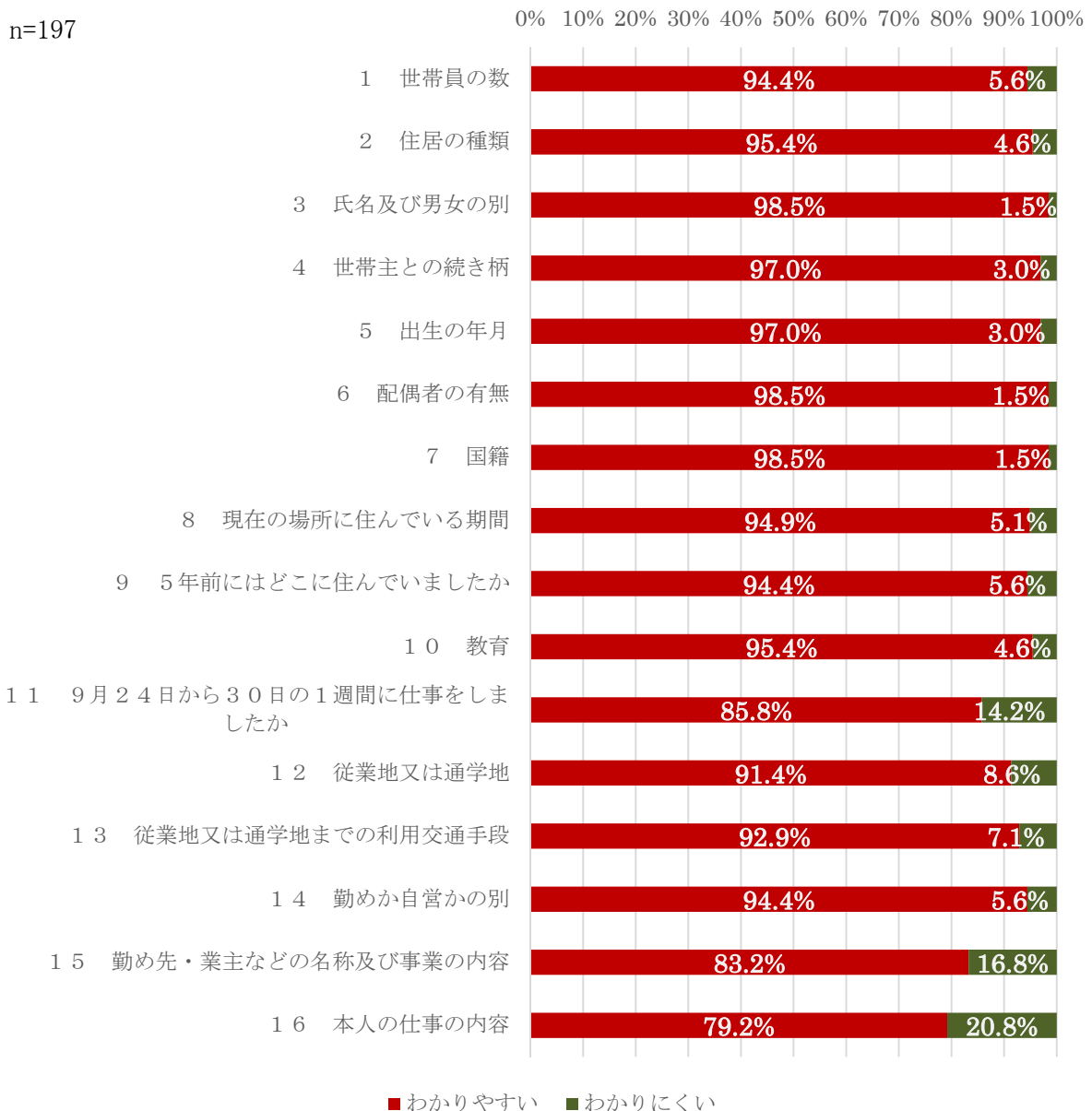
あなたは調査票の記入にあたって、各項目の説明文はわかりやすいと思えましたか。

あてはまるものをそれぞれ選択してください。

参照 URL 国勢調査2020 調査票の記入のしかた（サンプル画像有）

<https://www.kokusei2020.go.jp/household/entry.html>

（令和3年3月23日以降は <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>）



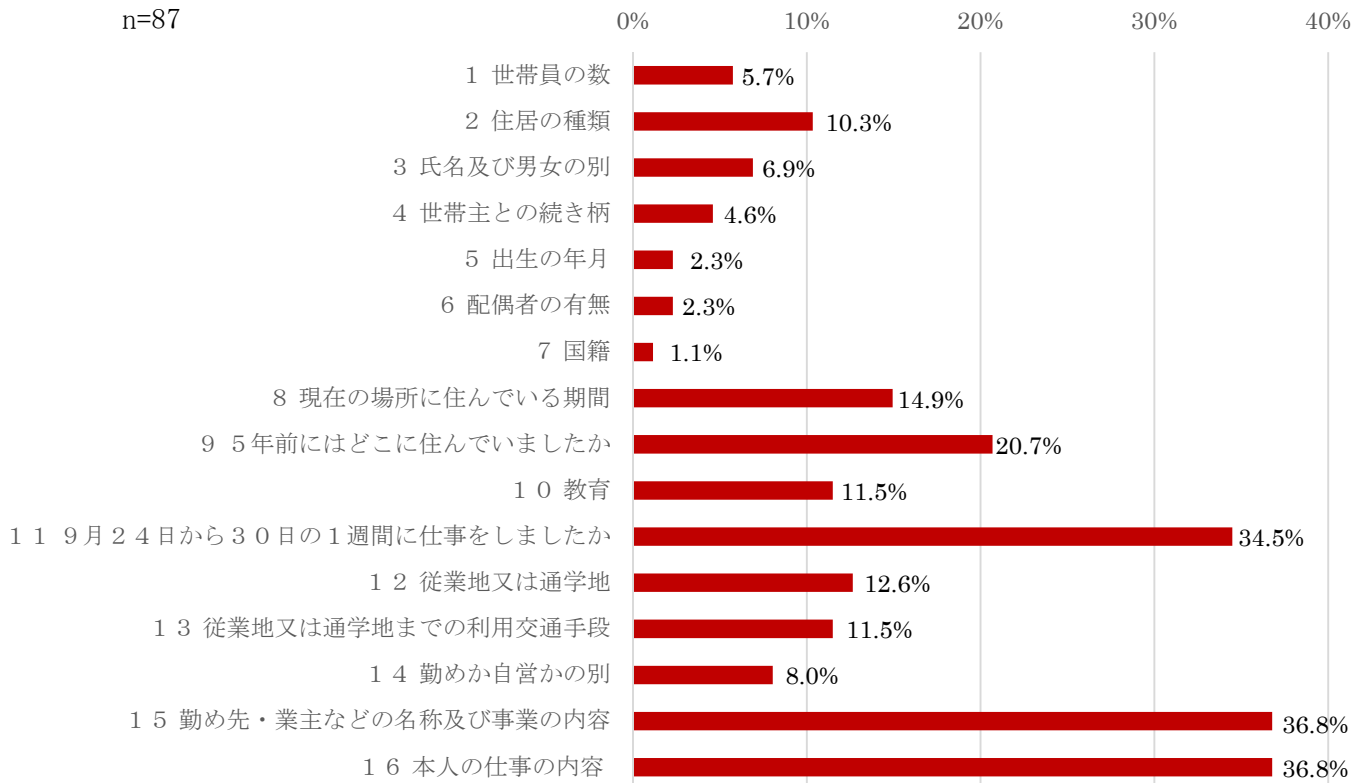
Q6 前問で挙げた通り、国勢調査には様々な調査項目があり、それぞれ重要な意味があります。※1
 あなたが、項目を設ける意図がわかりにくいと感じた項目があれば選択し、その理由をわかりにくい点欄
 にチェックの上、記入してください。

例：12 何故、従業地を聞く必要があるのかわからない

※1 参照 URL：国勢調査2020 よくある質問 5. 調査項目について

<https://www.kokusei2020.go.jp/about/faq.html>

(令和3年3月23日以降は <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>)

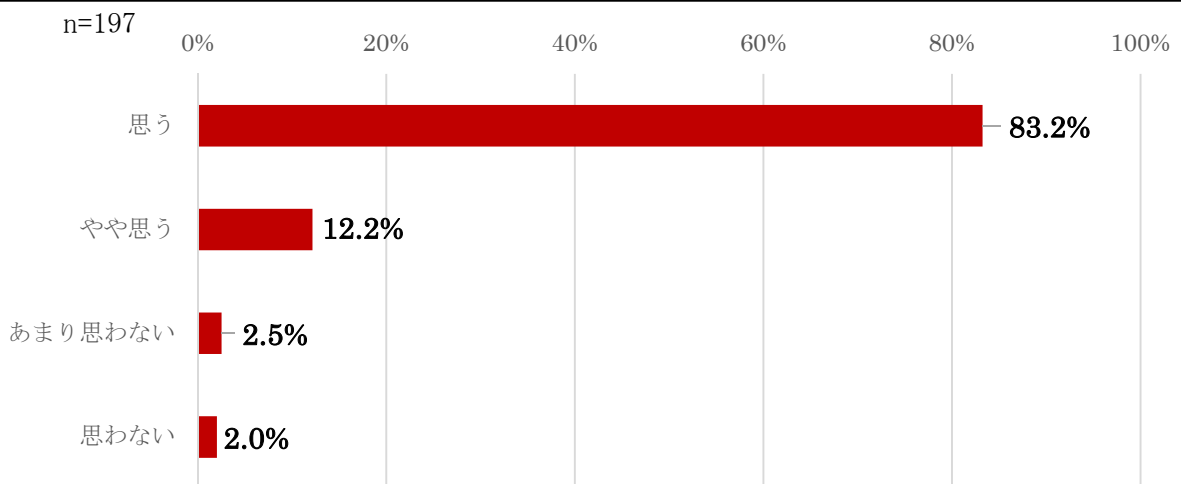


【分かりにくい点】

8 現在の場所に住んでいる期間
何時から住み始めたか正確に記憶している人は少ない
11 9月24日から30日の1週間に仕事をしましたか
質問の意図が分からない
なぜ一週間なのか
13 従業地又は通学地までの利用交通手段
複数の手段を使うこともある
15 勤め先・業主などの名称及び事業の内容
多岐にわたるので答えにくい
記載方法が分かりにくい
なぜ会社名が必要か
何故事業の内容を聞く必要があるのかわからない。
必要性を感じない

細かく書く必要があるのか
仕事場が会社の場所とはならない事も多く、また、業種ももっと端的なものに変えられないものか。ばらばらになる回答について必要性を感じない。
自分がどの事業内容に含まれるのかよくわからなかった
記載内容を誰が判断するのか、どれくらい正確にデータ反映されているのか、疑問に思う。
16 本人の仕事の内容
多岐にわたるので答えにくい
記載方法が分かりにくい
質問の必要性が分からない
事業内容や仕事内容は選択肢にない場合何と書くべきかわからない。

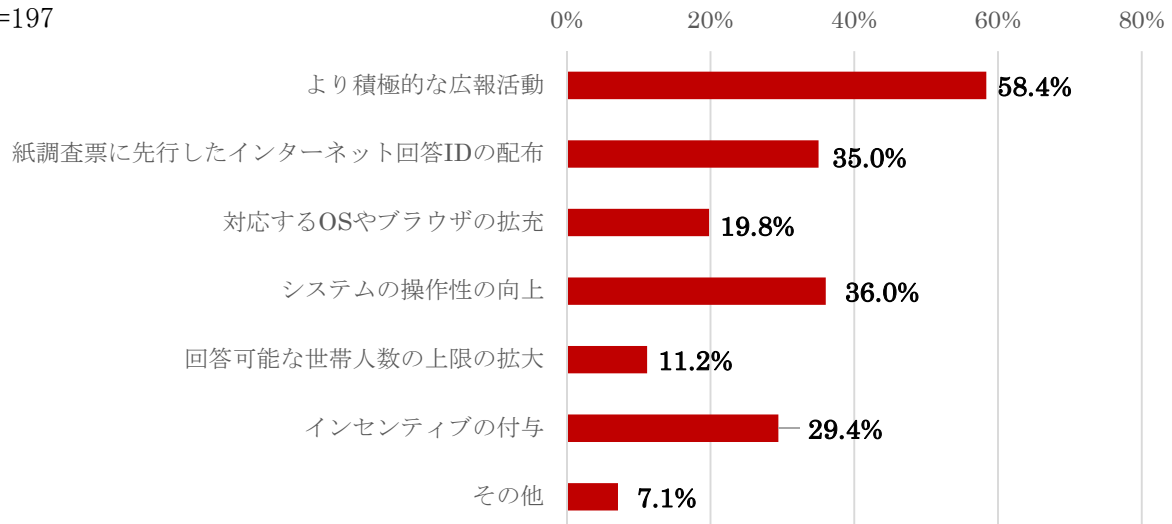
Q 7 今回の国勢調査では、新型コロナウイルス感染症対策として、調査員と世帯との対応をインターホンやドア越しとすることや訪問回数の削減、インターネット回答の推奨などの極力、ヒトとヒトとの接触を低減させる調査手法がとられました。あなたは次回以降も同様の調査手法で実施した方が良いと思いますか。



Q8 令和2年国勢調査においても前回と同様に郵送提出、調査員提出、インターネット回答といった回答手段が採用されました。あなたは、インターネット回答率を高めるためには、どのような改善が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※インセンティブ……回答意欲を高める仕組み

n=197



【その他】

インターネットなど苦手な人の為の事を考えたほうが良いと思います。

PC, スマホ普及が必要

アプリで回答できるようにする

ネット環境の整っていない人は図書館や市役所等の公共施設で利用できるようにする。

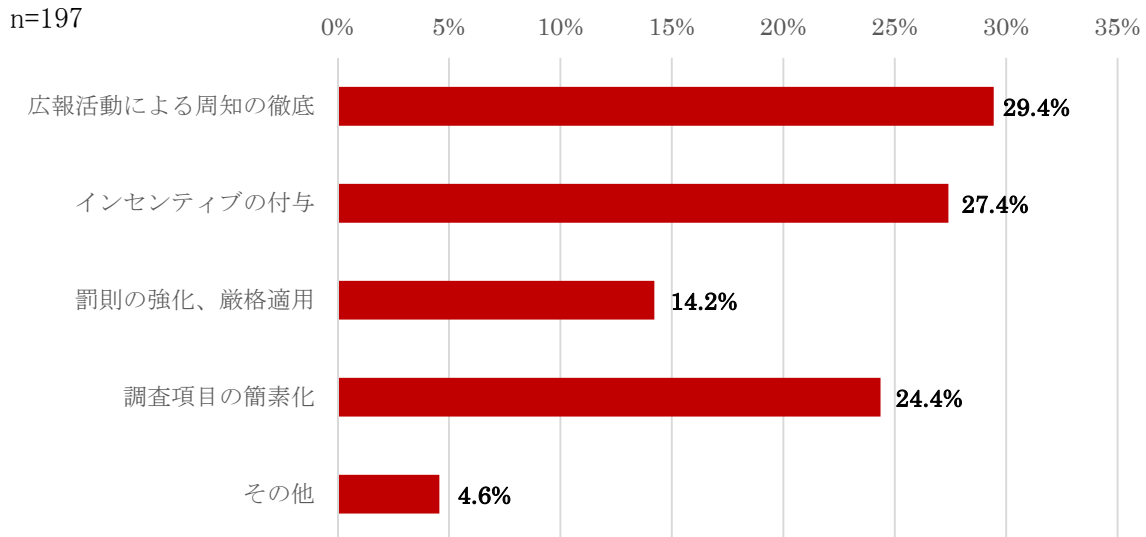
回答方法の選択肢性の簡易化

前回の回答内容のコピーがあらかじめ記入されていれば回答しやすい。

年数が経ってデジタル世代が当たり前になればインターネット回答の利用者は増える

マイナンバーカードを活用してください

Q9 Q2にあったように、国勢調査の回答については統計法により報告の義務がありますが、実際には100%の回答は得られていない現状があります。あなたは、回答率を上げるためにはどのような策を講じる必要があると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。※インセンティブ……回答意欲を高める仕組み



【その他】

項目などもっと簡潔に
国民の義務である事の認識を全員持つ事が重要
仕事で外出して家で回答する時間のない人の為、外出先や駅などでも簡単に回答できるようにするといった対策が必要だと思います。
地域行政の連帯強化
調査の目的を説明する
勤務先や事業内容等を回答することを面倒に思う場合も考えられる。
单身/若者世帯のフォロー

Q10 今までに回答した項目のほかに、あなたが、国勢調査について、改善すべきと思うところを教えてください。(自由記載)

n=45

質問項目は夫々吟味されたものであろうから、現状のままで良いと思います。
常識の範囲内での訪問を徹底する。朝6時、夜21時に訪問するような非常識な調査員は次回調査員から外す。今回非常識な時間帯に訪問する調査員であった為回答協力意欲が失せました。前回の調査時は調査員が車の前に立ち塞がり動かなかった為仕方なく回答した。
言葉自体は知っているが、調査への回答が当たり前になるくらいに国勢調査の中身(意義)について広報をすべきと思う。次世代へは学校教育(社会課など)できちんと理解させる必要があると思う。
目的、使途、予算、問題点等開示が不足、国民と共有すれば、改善できる
回答する上で、もう少し簡単に選択できるようにした方が、高齢者を始めコンピュータに不慣れな人にも回答しやすいと思う。また、言葉で書くことは極限まで減らせば、もっと回答しやすいと思う。
団地に住んでいますが、1Fの集合ポストに配達してほしい。自宅のドア裏に入っていると気が付かない。マイナンバーカードを使って国勢調査が楽にできるような仕組みを作ってほしい
どのような事に活用されたのかが分かりやすいものを抜粋し万人に分かりやすいように、国勢調査の結果が活用された旨、またそのような事に活用される故に国勢調査が必要であると周知すべき。義務であることは理解しているがどのように還元されているのかは分からないから回答しなくていいと思われてしまうのではないのでしょうか。
電子化が原則の仕組みにすべき。罰則は必要ないが行政サービスで差が出たり、紙の場合は入力手数料が掛かるなど人件費を意識したものにして移行を図るべき。
若い人から積極的に行うのが大切と思うので、もう少し明るい広告にしてみたり噛み砕いた説明だったりも必要だと思う。若者へのアンケートによって広告の仕方を考えてみたい
国勢調査の調査員をやめ、郵送にしてほしいです。調査員の人件費もかかりますし、調査員を名乗ればドアを開けなければいけないと思うので、詐欺や押し込み強盗などのリスクも増えます。ポストに投函するかネットで回答すればいいのでわざわざ訪問してほしくありません。
期間が短いのも問題なのでは？
回答した人には税金が控除されるとか、地元で使える商品券がもらえるとか回答するお得感がある良いですね。毎年実施するとか。
近隣の住民から調査員を選定するのを止める。
罰則対象の調査であるならば民間の調査会社と連携をして回答率向上を図るべき
目的と用途に説得力がないので、個人情報に記載する意欲が弱い
高齢者向けに端末の貸し出しなど・高齢者等への端末操作説明
目的がわかりにくい。回答に時間がかかるので面倒。
次回も同様でよい
マイナンバーができていの中で、手動での統計の意味が分からない。

やはりもう少し項目を絞って、書くのが面倒だなと思わせないようにするのいいのかなと思う。
小学校でも少し教えたり、話題にすると、子供から親に言ったりもするかもと思う。

マイナンバーカードとのひもづけ

書類の訪問手渡しは突然だとびっくりするので、事前の告知(ポストに挨拶文、訪問予定日、連絡先)があるとよい

【基本情報】

○性別

